

JIS

ビニル系床材

JIS A 5705 : 2022

(NIF/JSA)

令和 4 年 7 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	清 家 剛	東京大学
(委員)	植 木 暁 司	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	鹿 毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	嘉 藤 鋭	独立行政法人住宅金融支援機構
	釘 宮 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	輿 石 直 幸	一般社団法人日本建築学会 (早稲田大学)
	清 野 明	一般社団法人住宅生産団体連合会 (三井ホーム株式 会社)
	田 辺 新 一	早稲田大学
	永 井 香 織	日本大学
	原 智 彦	断熱・保温規格協議会
	福 田 孝 晴	一般社団法人日本建設業連合会 (鹿島建設株式会社)
	藤 野 珠 枝	主婦連合会 (藤野アトリエ一級建築士事務所)
	真 野 孝 次	一般財団法人建材試験センター
	吉 田 可保里	T&T パートナーズ法律事務所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 41.1.1 改正：令和 4.7.20

官 報 掲 載 日：令和 4.7.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本インテリア協会

(〒105-0012 東京都港区芝大門 2-1-17 朝川ビル TEL 03-3433-4521)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 清家 剛)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	2
5 材料	3
6 品質	3
6.1 形状及び寸法	3
6.2 性能	4
6.3 外観	5
7 試験	6
7.1 試験の共通事項	6
7.2 床タイルの寸法	6
7.3 床タイルの直角度	6
7.4 床シートの寸法	6
7.5 へこみ試験	6
7.6 残留へこみ試験	6
7.7 加熱による長さ及び幅変化試験	6
7.8 床タイルの吸水による長さ及び幅変化試験	6
7.9 床タイルの熱膨張率試験	7
7.10 床タイルの反り試験	7
7.11 耐汚染性試験	7
7.12 難燃性試験	7
7.13 密度	7
7.14 外観	7
8 検査	7
8.1 検査の種類及び検査項目	7
8.2 判定基準	8
9 製品の呼び方	8
10 表示	8
11 添付文書	8
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	10
附属書 JB (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	16
解 説	17

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本インテリア協会（NIF）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 5705:2016** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、令和 5 年 7 月 19 日までの間は、産業標準化法第 30 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS A 5705:2016** を適用してもよい。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

ビニル系床材

Polyvinyl chloride floorcoverings

序文

この規格は、2019年に第2版として発行されたISO 10581、2017年に第2版として発行されたISO 10582、2010年に第1版として発行されたISO 10595、2020年に第2版として発行されたISO 11638及び2010年に第1版として発行されたISO 26986を基とし、国内の実状を反映させるため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

この規格では、対応国際規格に規定されていない、吸水による長さ及び幅変化率、熱膨張率、反り、難燃性、密度及び外観を追加している。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格に一致している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。また、技術的に重要な改正に関する新旧対照表を附属書JBに記載する。

1 適用範囲

この規格は、主として建築物の床に使用するビニル系床材について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 10581:2019, Resilient floor coverings – Homogeneous poly(vinyl chloride) floor covering – Specifications

ISO 10582:2017, Resilient floor coverings – Heterogeneous poly(vinyl chloride) floor covering – Specifications

ISO 10595:2010, Resilient floor coverings – Semi-flexible/vinylcomposition (VCT) poly(vinyl chloride) floor tiles – Specification

ISO 11638:2020, Resilient floor coverings – Heterogeneous poly(vinyl chloride) flooring on foam – Specification

ISO 26986:2010, Resilient floor coverings – Expanded (cushioned) poly(vinyl chloride) floor covering – Specification

(全体評価：MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。この引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。